

### 3.1.7 魚類

#### ■確認された魚類の概要

生物調査時に補足的に魚類を調査した結果、6 エリアで4目7科10種の魚類が確認された（外来種3種含む）。確認された魚類のリストを表68に示す。アブラハヤは水系調査では確認されていない。

表 68 エリア調査で確認された魚類リスト

No.	目	科	種	学名	確認エリア						重要種選定基準	
					奈良公園	佐紀	矢田丘陵	大柳生	都介野	西の京	環境省RL (2020)	奈良県RDB (2020)
1	コイ目	コイ科	コイ(飼育型)	<i>Cyprinus carpio</i>		●				●		
2			フナ属	<i>Carassius</i> sp.			●					
3			アブラハヤ	<i>Rhynchocypris lagowskii steindachneri</i>					●			希少
4			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>		●						
5		ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>				●			NT	
6	タウナギ目	タウナギ科	タウナギ(本土産)	<i>Monopterus albus</i>		●						
7	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>		●	●			●	VU	希少
8	スズキ目	サンフィッシュ科	オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>			●					
9		ドンコ科	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>	●							
10		ハゼ科	ヨシノボリ属	<i>Rhinogobius</i> sp.		●						
合計	4目	7科	10種	—	1種	5種	3種	1種	1種	2種	2種	2種

#### ・奈良公園

森林内を流れる小川で調査を行った。流れが緩やかで落ち葉が堆積している場所でドンコの稚魚が確認され、繁殖していると考えられる。

#### ・佐紀

水上池、ヒシアゲ古墳、水田の水路で調査を行った。水上池でコイ（飼育型）が確認された。ヒシアゲ古墳の堀ではタウナギ（本土産）の稚魚が確認された。周辺の水田の水路ではモツゴ、タウナギ（本土産）、ミナミメダカ、ヨシノボリ類が確認された。水路では外来種のタウナギの稚魚が多数確認され、繁殖していると考えられる。また、止水性の在来魚の生息場所となっていた。

#### ・矢田丘陵

自然公園内の池や水田の水路でミナミメダカが確認された。地元の方の聞き取りから、古くから生息しているとの情報を得た。矢田丘陵の農業用ため池はフナ類の釣り堀としても利用されていた。また、一部、オオクチバスが確認されたため池もあった。

#### ・大柳生

奈良市青少年野外活動センターのビオトープでドジョウが確認された。様々な体サイズの個体が見られ、繁殖していると考えられる。

・都介野

森林の河川源流域で調査を行った。水深が 50 cm程ある淵でアブラハヤが 30 個体ほど確認された。

・西ノ京

薬師寺の横のため池、秋篠川で調査を行った。ため池ではコイ（飼育型）が確認された。秋篠川ではコイ（飼育型）、ミナミメダカが確認された。



秋篠川のコイ（型）（西ノ京）



フナ属の死体（西ノ京）



河川上流域のアブラハヤ（都介野）



水田の水路に生息しているモツゴ（佐紀）



秋篠川に生息するミナミメダカ（西ノ京）



ビオトープに生息するドジョウ（大柳生）



奈良公園に生息しているドンコ



水路に生息しているヨシノボリ類（佐紀）